

平成20年3月14日

京都市教育委員会事務局指導部
音楽高校改革推進・建設室 213-1019

京都市立音楽高等学校移転整備事業の民間事業者を決定！！

～音楽高校新校舎，音楽ホール，芸術大学サテライト施設，開放型ギャラリー…
芸術創造都市・京都にふさわしい音楽・美術活動の拠点施設の誕生への序曲～

京都市立音楽高等学校移転整備事業については，現在，西京区大枝沓掛にある京都市立音楽高等学校のより一層の発展を目指し，民間の技術的能力等を活用するPFI手法を導入（京都市で4件目）し，中京区の元城巽中学校跡地に平成21年度中に新校舎等の整備，移転を予定しています。

このたび，平成20年2月8日に入札参加者から提出のあった提案書の内容を，京都市立音楽高等学校移転整備事業審査委員会（委員長 上村 淳之 京都市立芸術大学名誉教授，日本芸術院会員，他委員10名）において審査を行った結果を踏まえ，下記のとおり事業者を決定致しました。

記

1 落札者

吉村建設工業グループ

（吉村建設工業（株），（株）類設計室，オリックス・ファシリティーズ（株），
（株）ミラノ工務店，三菱UFJリース（株））

2 入札金額（税抜き）

3, 808, 636, 197円

3 審査委員会の主な評価点

- (1) 音楽・美術の中核施設として，また新しい景観施策への対応など，事業理念や施設の目的等を十分に理解している。
- (2) 音楽高校のホールについては，優れた音響を求めるための配慮がなされており，芸術創造都市・京都にふさわしい優れたホールとなる可能性がある。
- (3) 音楽高校等の施設の機能性の確保等，施設の動線についての十分な配慮がされている。

※審査委員会の審査講評は，後日公表する予定です。

4 施設概要

(1) 主要施設

- ア 音楽高校新校舎（普通教室、レッスン室、ソルフェージュ室 等）
- イ 音楽ホール（オーケストラの演奏可能なステージ、座席数：300）
- ウ 京都市少年合唱団及び京都子どもの音楽教室事務室等
- エ 京都市立芸術大学サテライト施設
- オ 開放型ギャラリー
- カ 地元施設 他

(2) 建物の規模等

- ア 延床面積 約10,900m²
- イ 建物高さ 約14.8m（地上3階建て）
※建物高さは、新たな景観施策に対応しています。

(3) 施設の外観及び音楽ホールの内観（イメージ図）



南東側から見た見上げ図

※本図は、参考資料として提出されたものであり、実際のイメージとは異なる場合があります。



音楽ホールの内観透視図

<参考>

1 事業手法

本事業の実施に当たっては、民間事業者の発想や活力を取り入れることが可能なことや効率的、効果的な財政の縮減が見込まれることから、本市で4件目となるPFI手法を導入して実施します。

※京都市のPFI先行事例

- ・京都御池中学校・複合施設整備等事業
- ・京都市立小学校冷房化等事業
- ・京都市伏見区総合庁舎整備等事業

2 事業用地

元京都市立城巽中学校跡地

(京都市中京区油小路通押小路下る押油小路町238番地の1他)

3 入札手続き等

(1) 入札方法

ア 競争入札参加資格の確認(第一次審査)と事業提案内容審査(第二次審査)を経て落札者を決定

イ 第二次審査については、提案内容を京都市立音楽高等学校移転整備事業審査委員会で審査・評価のうえ点数化し、入札価格を点数化して合計した点数を総合的に評価する総合評価一般競争入札により実施

(2) これまでの経過

第一次審査(競争入札参加資格確認)受付 平成19年11月26日～11月30日

第一次審査結果の通知 平成19年12月 7日

入札・開札 平成20年 2月 8日

落札者の決定 平成20年 3月13日

4 今後のスケジュール

平成20年 5月 事業契約の締結

平成20年12月 建設工事の着工

平成22年 2月 新校舎等の竣工

平成22年 3月 新校舎供用開始

平成22年 4月 音楽高校移転開校予定

平成37年3月まで 落札した事業者が施設を維持管理